

活動報告書

2023

子どもたちが
生まれた環境に
左右されることなく
未来を描ける
社会をつくる



認定NPO法人 フードバンク山梨

設立より15年を迎えました。 地域に新たな縁を築くために、これからも皆様と共に

「フードバンク山梨」は、地域の皆様の温かいご支援と協力のおかげで、昨年無事15周年を迎えることができました。しかしながら、今年は2024年の元旦に発生した能登半島地震により、波乱の幕開けとなりました。また、物価の上昇は当法人が支援するシングルマザーなど低所得層に大きな影響を与えています。富の格差が拡大し、豊かな人はより豊かに、貧しい人はより貧しくなっています。

子育て中の家庭からは、「物価高騰でおかず1品だけの日もありますが、フードバンクさんの支援が本当にありがたく、皆様に感謝しながら過ごした1年でした」という声が寄せられています。また、「たくさんの食べ物が入った箱は、まるで宝石箱のように我が家を嬉しい気持ちにしてくれました。子育てが終わったら、私も支援する側になりたいです」との感謝の言葉もあります。さらに、8歳の女の子からは「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。クリスマスにこういうプレゼントがあるとうれしいです。ありがとうございます」とのメッセージが寄せられました。

子どもたちからの声は、私たちの活動の原動力となっています。「子どもたちが育った環境にかかわりなく、笑顔でいてほしい」という願いを胸に、フードバンク活動を通じて、助け合いの社会を築き、温かな循環社会を目指しています。

最後に、これまでのご支援に心から感謝申し上げます。
今後も地域の皆様と共に力を合わせてまいります。



理事長
米 山 けい子



副理事長
城 野 仁 志

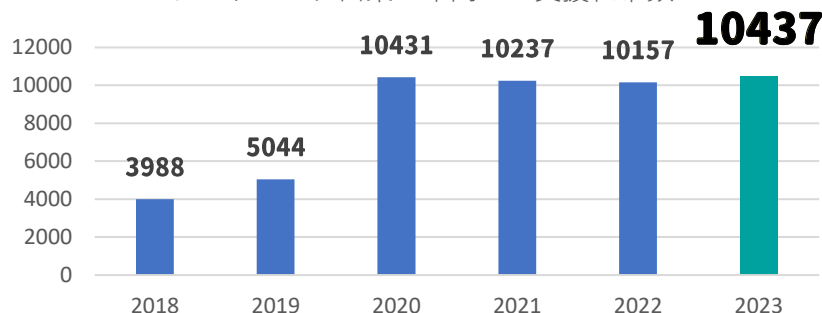


事務局長
齋 藤 如 代 子

フードバンク山梨が2023年度に食料支援を行ったのべ世帯数

10,437 世帯

フードバンク山梨の年間のべ支援世帯数



フードバンクとは、安全に食べられるのに販売できない食品や家庭の余剰食品の寄贈を受け、必要としている世帯や施設に無償で提供する活動です。

フードバンク山梨は、食品ロスが最小限にとどめられ、余剰食品や寄付食品が、必要とするすべての家庭に届く仕組みやネットワークの確立を目指しています。

【食品ロスとは】

まだ食べられるのに販売できなかったり、期限が短い等で廃棄される食品のことです。日本では、年間約523万トンの食品ロスが発生しています。これは日本人一人当たりお茶碗約1杯分に近い量のご飯を毎日捨てていることと同じです。

*農林水産省及び環境省「令和3年度推計」



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

フードバンク活動が貢献する6つの項目



「困ったときはお互いさま」。誰もが声を上げられる、そして誰もが貧困問題の解決に行動できる社会を築いていきます。



明日の食べ物にも事欠く方々に食品を送り、食生活を改善し、命をつなぐ支援を行います。



困窮に陥ってしまった方々の生活基盤の安定のために、行政や社会福祉協議会等と連携して食品を届けます。



食品企業の、安全に食べられるのに販売できない食品や、家庭の余剰食品を有効に活用することで食品ロス削減に貢献します。



大量の「食品ロス」を焼却せず、生かすことで食品ロスを発生させない仕組みづくりを目指します。



多くの市民・農家・企業・行政とのパートナーシップで地域の課題を解決し、誰もが暮らしやすい社会を実現します。

笑顔で食卓を囲む幸せをすべての子に



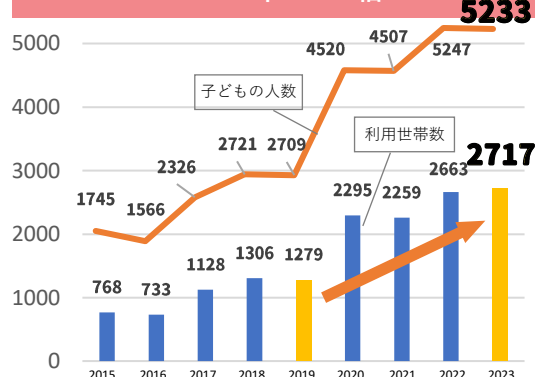
フードバンクこども支援プロジェクト

のべ
支援数 **2,717** 世帯

給食のない夏休み・冬休みに計3回、
食品を配布。
申請書は学校を通して就学援助制度
を利用する世帯に配布され、希望す
る世帯に食品を届けています。

連携する小中学校	114校
2023年利用世帯	924（子ども1789人）
母子世帯数	704（全体の76％）

2023年度の支援世帯数はコロナ禍前である
2019年の2.12倍



乳幼児応援プロジェクト

「ミルクの代わりに麦茶を飲ませる」
「おむつが買えず交換を控える」などの
声に応え、未就学児がいる家庭に、
県内ドラッグストアチェーンと
連携して食品と共に「おむつ」
「ミルク」の引換券を配布しています。



ひとつの食品に込められたたくさ
んの方々の思いや一緒に作り上げ
る活動をつながていけるような存
在でありたいです。

秋山 綾乃



フードドライブに協力してくれた
方々やボランティアの皆様と一緒に、
食品と想いをお送りしています。活
力につながる支援を心がけています。

野中 光太

世界を広げる出会い



Twinkle Stars Academy

トゥウィंकルスターズアカデミー

のべ
支援者数 **162** 人

ITスキルとグローバルな視点で、世界で活躍できる人材を育てることを目指し、小中学生を対象に無料のプログラミングと英会話の教室を開催。ヴィジョナリーパワー(株)と連携して実施しました。

- ・プログラミング講座：(株)スクーミー
- ・英会話：(学)バンビバイリンガル学園
- ・お弁当提供協力：(株)まもかーる

【保護者より】

- * 子どもの選択肢を広げる機会だと思っている
- * 異年齢の子どもと一緒に活動するのがよい
- * 子どもにとっていい大人との出会いは大切

学歴の壁を超える

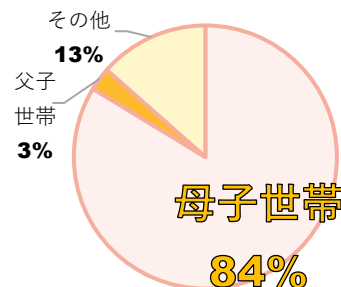


高校生・若者支援

のべ
支援世帯数 **1,171** 世帯

高校生のいる世帯と施設や里親の元を離れたケアリーバーへの食料支援を開始。さらに学歴の壁を乗り越えて活躍できる人材育成を目標に、IT人材育成講座を無料で提供しました。

【高校生を育てる世帯の状況】



ももっ子クラブ

のべ
支援者数 **156** 人

子どもたちと大学生が、みんなで一緒に勉強し、遊び、楽しく過ごす居場所を提供。学習支援での学力の向上、ロールモデルとなる大学・高校生との交流、おやつや食品も配布しています



こどももおとなも笑顔で暮らせる、そんな社会になりますように。
心を込めて日々活動をしています。
島田 初枝



フードバンクを交点としたあたた
かいつながりで生まれる力が、未
来を明るくすると信じています。
高野 彩子

官民の協働



地域を支える



食のセーフティネット事業

のべ
支援数 **5,327** 世帯

10の市町・社会福祉協議会と連携し、生活に困窮する世帯に月2回食品を宅配しています

【連携する行政】

南アルプス市・中央市・笛吹市・山梨市・都留市・上野原市・昭和町・市川三郷町・身延町・富士川町

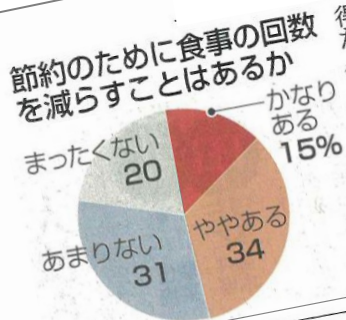
施設・団体への食品提供

のべ
提供料 **129** トン

児童養護施設や障がい者施設などの福祉施設や、子ども食堂に食品を提供しています。

希望の内容・量をヒアリングし、ニーズに応じて配布しました。地域のつながりがより強固になりました。

山梨日日新聞
2024年5月24日



アンケートは3月24、25日、同法人の定期的な食料支援を
受けていない困窮世帯を対象
に行った食料支援事業で実
施。支援を受けた132世帯
のうち116世帯から回答を
得た（回答率87・9％）。

結果によると、物価高騰な
どによる節約のために食費を
削ると回答した人は全体の95
％。「節約のために食事の回
数を減らすことはあるか」と
の質問には15％が「かなりあ
る」と回答した。「ややある」
の34％と合わせると49％が食
事回数を減らさざるを得ない
状況だった。

直近3カ月の平均で、1カ
月の食費にかかる金額は33％
が「月3万円未満」。一人当
たりの食費に換算すると1日
333円で、昨年11月の前回
調査時の384円と比較して

約1割減少した。1カ月の
食料金については、平均
34円増額となり、値
の1・9倍となった。

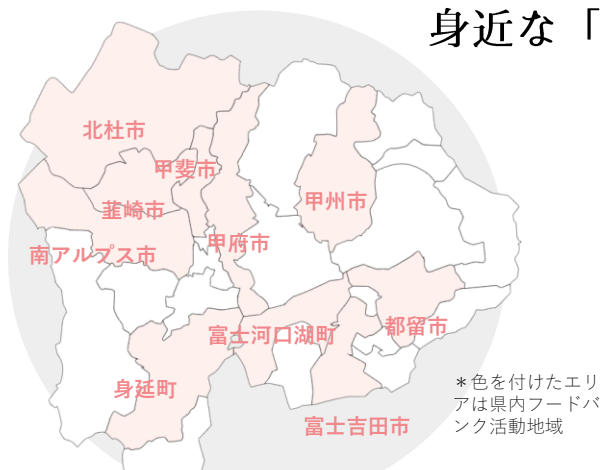
自由記述では「働
料が上らない」「
の生活に、物価
高騰でさらに生活
といった声が寄せ
え、経済的な不安
ている状況が浮
た。

同法人担当者
騰には多くの
ているが、賃

困窮世帯ら割 食事回数減 フードバンク調査 来月、緊急支援

合松優

身近な「食」の拠り所



県内フードバンクの活動支援 つながるスマイルプロジェクト

設立数 **12団体1社**

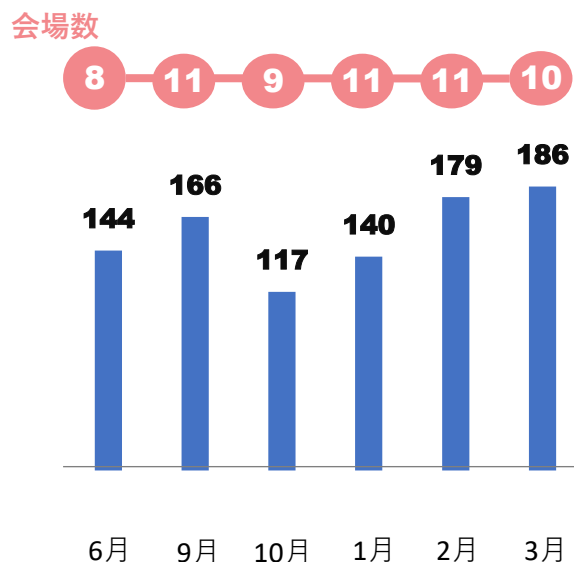
フードバンク山梨は、中核的フードバンクとして、県内各地の支援拠点となるフードバンクの設立と運営を応援。
フードバンク活動を紹介するセミナーや活動交流会を行いました。

- 【県内フードバンク団体・食品配布協力団体】
(2023年度末時点)
- ・協力団体ふじざくら (富士河口湖町)
 - ・社会福祉法人山梨立正光生園 (甲府市)
 - ・韮崎だんぼらの会 (韮崎市)
 - ・NPO法人高齢社会を克服する会 (甲府市)
 - ・ファミリーホーム「かいふじホーム」 (南アルプス市)
 - ・NPO法人こどもサポートやまなし (甲府市)
 - ・NPO法人ぐんないや・織syoku- (都留市)
 - ・よりそい北杜 (北杜市)
 - ・社会福祉法人忠恕会 (甲府市)
 - ・社会福祉法人ぎんが福祉会 (甲斐市)
 - ・特例認定NPO法人富士の緑とフードサポート (富士吉田市)
 - ・株式会社シャトレゼ (身延町)
 - ・NPO法人地域つながりお茶会ちびチュウ (中央市)

のべ
支援数 **932** 世帯

コロナ禍・物価高騰などの影響を受け厳しい生活を余儀なくされている方へ、県内フードバンク団体と協力し、各地の会場で食品配布会を行いました。

【利用世帯数の推移】



100の「できたらいいな」より、今行動することが大切です。制度の狭間にある方に寄り添う支援の在り方を、動きながら探ります。一緒に一歩踏み出しましょう！
河野 有良



フードバンク活動は、自分・みんな・地球・今・未来を大切にすることだと感じます。活動を通じてより多くの人とつながっていきたいです。
川崎 宏美

全国規模でロス削減

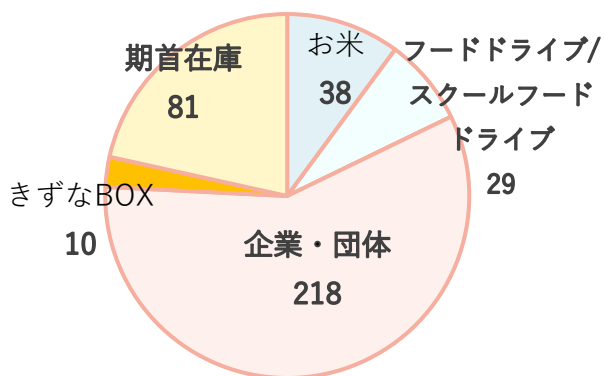


企業からの大量寄贈

年間食品取扱量 **376** トン

賞味期限内で販売できない食品を製造企業から寄付いただいています。全国フードバンク推進協議会からの大口寄贈にも積極的に対応しています。山梨フードバンクセンターの収容能力を生かし、年間の食品取扱量は376トンになりました。

【年間食品取扱量の内訳】



* 数字の単位：トン

誰かを想う力の結集



フードドライブ・きずなBOX (市民・団体からの食品寄贈)

受入重量 **78** トン

「フードドライブ」
家庭にある未利用食品を寄付する取り組み。市民の方の寄付を始め、教育機関や職場・団体の協力も大きな力になっています。

「スクールフードドライブ」

学校では生徒会が中心となって呼びかけたり、三者懇談の際に保護者が学校に持ち寄るなど、学校行事の一環として継続的に取り組まれています。

のべ協力校 **93** 校 総重量 **5.4** トン

「きずなBOX」

スーパーでお買い物がてら気軽に食品を寄付できる仕組みです。「いちやまマート」山梨県の全店、「JA南アルプス市Aコープ」白根店・甲西店にBOXを設置していただいています。



人と人とのつながりを大切に。誰もが食を分かち合える社会を、日ごろから支えて下さる方々と共に目指します。
小倉 啓太

夏休みの高校生ボランティア



学校でフードドライブに協力した高校生から、「集めた食品がどのように支援に活用されているのか知りたい」という声がありました。これを受け、2023年7月～8月にかけて、高校生に夏休みのボランティア参加を呼びかけました。7日間にのべ228名が参加しました。

誰かのために活動している
方々が素敵だと感じました

「ナツボラ」に参加して

あんなにたくさんの食べ物が集められていることに驚いた。人の優しさや企業の努力の賜物だな、と感動した。
必要とする人たちの助けに少しでも
なりたいたいので今後も参加しようと思った

もっと大変な仕事だと思ったけれど
思ったよりも、みんなと楽しく有意義
な時間を過ごせた。こういう風に仕分
けているんだと初めて知り、良い経験
になった

ボランティアには初めて参加しました。
いろいろな形がある食品の組み合わせ
を考えて、きれいにぴったりになるよ
うに箱詰めをするのが楽しかったです

ただ黙々と作業するのだと想像していた
が、思ったより楽しく、食品を受け取る
人達のことを考えました。多くの人に
届けば良いなと思いました

「見えない貧困」を可視化し共同の輪を広げる

「フードバンクとぼく」 クラウドファンディング

■全国の図書館への 本の寄贈費用に

全国の公立図書館・高校に蔵書してもらうことで、若い方を始めとする多くの人に、困窮する子どもたちがいる現実を知らせ、「自分ならどうするか」を考えるきっかけになることを目指します。

■クラウドファンディングで 支援が広がりました

インターネットを通じて全国の方に情報が届き、日頃支援いただいている方に加え、多くの方の協力を得ることができました。温かい応援のメッセージもいただきました。



応援メッセージのご紹介

石田ひかりさん／俳優



“未来を担う若者に、人の痛みを想像できる大人に成長してほしいから”

皆様こんにちは。石田ひかりです。

「フードバンク」「フードドライブ」「食品ロス」「手前取り」という言葉も、俳優の石田ひかりさんからのメッセージ
溶け込む時代となりました。「奥取り派」だった私も、賞味期限の近いもの、お

【支援いただいた方々から寄せられた応援の言葉】

- ・すべての人々が平等な生活を送れる社会になることを願っています。
- ・支援が必要な子どもたちが、フードバンクを知って、応援してくれる人たちがいること、困ったときは頼って良いんだという安心を支えにがんばってくれることを願っています。
- ・こどもたちのために奮闘されているフードバンクさんを応援します。



2023年12月10日 山梨学院大学シドニー記念水泳場にて

スポーツの力で社会課題を解決

「萩原智子杯」での フードドライブ

シドニー五輪競泳日本代表の萩原智子さんの呼びかけで実現。選手や関係者のみなさんから多くの食品寄付をいただきました。

【萩原さんから参加者へのメッセージ】

萩原智子杯山梨大会では「人と環境に優しいフードロス削減」に向けてアクションします！スポーツには社会課題を解決する力があります。スポーツの力を活用し、困った時はお互いさま、地域で助け合おう！

令和6年能登半島地震 緊急支援

フードバンク山梨は、全国フードバンク推進協議会の要請を受け、1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被害を受けた石川県珠洲市に、1月6日～7日にかけ、緊急支援として珠洲市の要望による物資を届けました。

■全国フードバンク推進協議会の緊急支援の動きに連携

フードバンク山梨が加盟する「全国フードバンク推進協議会」は、発災直後から被災地域に入り、自治体や被災地域のフードバンク団体等と連携し、支援ニーズの把握を行いました。

■石川県珠洲市からの支援要請により活動開始

1月6日に石川県珠洲市から全国フードバンク推進協議会へ支援要請がありました。支援物資の搬入を依頼され、物資を積み込んだ車両で山梨から被災地へと向かいました。

【支援した品目】

- ・タオル5,000枚・下着・靴下 男女400枚
- ・ゴミ袋2,000枚・身体拭き用ウェットティッシュ など

珠洲市

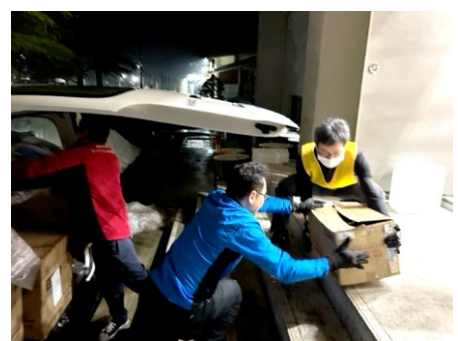
石川県



七尾市：道路の液状化



輪島市：倒壊家屋



珠洲市：避難所となった体育館へ搬入

【対応に当たった職員所感】

**緊迫した状況下に身を置く方々を思った。
今後もできる限り支援したい**

倒壊した家屋、陥没した道路などTVニュースで目にしていた光景が目の前に広がり言葉を失った。いつ余震がくるのか、緊急車両とひっきりなしにすれ違うなど緊迫した中での移動が続いた。この中に被災者は何日も身を置いている。胸が張り裂ける思いだった。今後もフードバンク団体としてできる支援を行っていかれたらと思う。（小倉）

**現地の方々の心理的な影響も心配。
全国からの応援に勇気づけられた**

現地の方々は意外にも淡々と生活しているように見え、悲しみや困惑といった心情を感じ取ることができなかった。今後の影響がとても心配である。全国各地のナンバーを付けた車両が応援に来ており、各々の支援への想い、使命感、熱意など一体感を覚えた。一方でボランティアなど人手の大切さも感じた。（野中）

暮らしは厳しさを増しています

給料は上がることもないのに、物価だけがどんどん高くなり、育ち盛りの子どもたちの食費も気づけば毎月赤字です。特に長期休みはとても苦しいです。
(母子世帯・子ども 6 人)

お米が買えなかったり、学校にお金がかかり買い物にも行けなかったり、ふりかけや卵かけご飯の時もあります。無いものばかりですが買えないので困っています。
(母子世帯・子ども 3 人)

派遣の仕事も、やることが無い日は自ら早退や休みを取らざるを得ない状況。低収入なのになおさら少なくなっていました。
(母子世帯・子ども 1 人)

私の給料が少ないため、食べさせたくても我慢させてしまっていることが多い。
(母子世帯・子ども 5 人)

子どもたちの「体験」にも格差が生じています

夏休みや冬休みなどに外出したりどこかに遊びに連れていきたいですが、さすがにそこまでお金が回りません。普通の家庭の子どものように楽しい思い出を作れたらいいのですが。
(母子世帯・子ども 2 人)

バスや電車の乗り方を教えてくれる方がいるとうれしいです。実際に体験したり。私が仕事でなかなか動けずそのようなことを教えてあげられないので。また誰かに教えてもらうことも大切だと思うから。
(母子世帯・子ども 2 人)

私たちは支援を通じて、気にかけて、応援する人がいることを伝え続けます。

苦しみをひとりで抱えることなく、声を挙げられる社会の実現を目指します。

設立15周年記念セレモニー・フェスタを行いました

当法人が設立15周年を迎えるにあたり、2023年10月15日（日）に「記念セレモニー」と「かがやけ！みらいフェスタ」を開催しました。これからも、支援を求める方の拠り所として、また他者を思い遣り応援する方々の活動の拠点として、つながりの輪を広げていきます。

第1部 記念セレモニー

関係者51名が出席。企業・学校・ボランティアの皆様へ感謝状をお渡ししました。利用世帯から公募した「15歳の子どもたちの作文」の最優秀賞受賞者の表彰を行いました。

第2部 かがやけ！ みらいフェスタ

支援する130組の親子を招待。多くの企業・団体の皆様のご協力により、各コーナーが充実し、帰りに大抽選会と食品・日用品もプレゼントできました。



協力いただいている皆様へ感謝状



ダンボール工作



サッカーゲーム



こども縁日



ハロウィン英語イベント

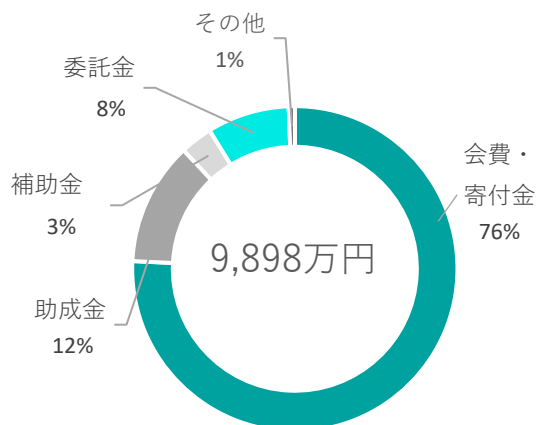


バルーンアート

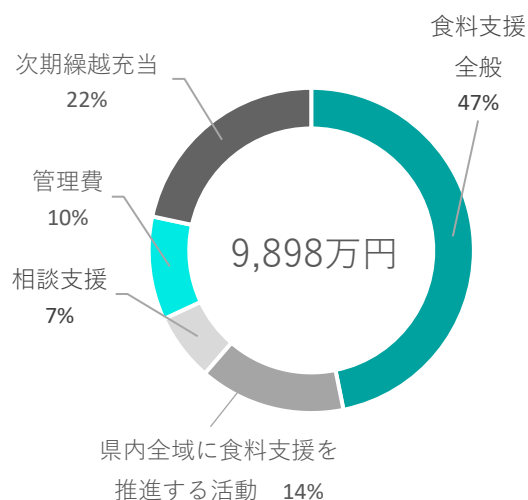
2023年度決算報告

* 詳しい内容はホームページで公開しています

収入



費用



SPECIAL THANKS

協力企業・団体のみなさま

2023年4月1日～2024年3月31日まで実績

小林製薬株式会社×青い鳥こども支援プロジェクト

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社 株式会社タンザワ

株式会社中部
宗教法人生長の家

株式会社ネオシステム
ツルヤ化成工業株式会社

生活協同組合ユーコープ
株式会社エム・シー・エス
株式会社はくばく
昭和南耳鼻咽喉科クリニック
向山塗料株式会社
ヒロセ電気株式会社
旭陽電気株式会社
株式会社シンク

株式会社福島運輸
株式会社テレビ山梨
株式会社エヌディエス
株式会社オーク
ファスフォードテクノロジー株式会社
株式会社アースリンクイノベーション
株式会社シャトレゼ
株式会社内藤製作所

株式会社エノモト
株式会社オーテックメカニカル
医療法人田辺産婦人科
株式会社サンボー
有限会社ジーエヌコーポレーション
有限会社南口運輸倉庫
有限会社峽西シーエーテーブイ
株式会社ササキ
なかえこどもクリニック
株式会社クロスフォー
株式会社新和運輸
有限会社山梨検査センター
有限会社保泉商事
オプトホーム株式会社
株式会社サンワライフ保険
株式会社システムインナカゴミ
共信冷熱株式会社
山梨日野自動車株式会社
長田組土木株式会社
昭和総合警備保障株式会社
オギノ食糧株式会社
コミヤマエレクトロン株式会社
テクト株式会社
株式会社山梨中央銀行
富士急行株式会社
生活協同組合パルシステム山梨 長野
パルシステム生活協同組合連合会
パルシステム共済生活協同組合連合会
ヒューコムエンジニアリング株式会社
フォネットグループ

医療法人快療会 くつま整形外科医院
医療法人久悠会 津久井胃腸科医院
医療法人碧山会 甲府昭和婦人クリニック
医療法人優心会 竜王レディースクリニック
医療法人立史会 今井整形外科医院
株式会社 M's gift
株式会社FUJISEI
株式会社Toshin
株式会社オーテックエレクトロニクス
株式会社クスリのサンロード
株式会社サニカ
株式会社パルライン
株式会社幸栄企画
株式会社坂本建運
株式会社藤石材
株式会社尾澤工業
山梨スズキ販売株式会社
山梨ダイハツ販売株式会社
小澤こころのクリニック
浄土真宗本願寺派大正寺
清水内科クリニック
住友林業株式会社 住宅建築事業本部 甲府支店
土屋眼科医院
有限会社ペリー商事
有限会社総合電化小林
株式会社三菱UFJ銀行
医療法人 大塚内科小児科医院
ヴィジョナリーパワー株式会社
社団法人テスラ・オーナーズ・クラブ・ジャパン
株式会社エス・アイ・エンジニアリング

ボランティアグループ孝進会
株式会社BWI
株式会社丸政
お百度参る
G.Iホールディングス株式会社
hazime.net合同会社
浄土真宗本願寺派 都留組
医療法人社団友伸會
釜水経営者会
ダイドードリンコ株式会社

*一定額以上のご協力をいただいた企業・団体の支援者様
を記載しています（順不同）96社・団体
*上記以外にご寄付をいただいた企業・団体 123社・団体
*個人寄付者 830名

ご協力をお願い

食品のご寄付



家庭にある未利用の食品を、地域や学校・職場で集めてお持ちください

笑顔で食卓を囲む喜びがどんな人にも当たり前にあるように。分かち合う豊かさを知る多くの方の協力が活動を支えています

受け付けている食品

- ・お米
- ・乾麺/パスタ
- ・カップ麺
- ・インスタント
- ・レトルト食品
- ・缶詰/フルーツ缶
- ・ふりかけ/のり
- ・お菓子
- など

* 宅配便や郵送でも受け付けています

お買い物がてら気軽に食品を寄付できる「きずなBOX」を設置しています

「いちやまマーケット」山梨県内の全店
「JA南アルプス市Aコープ」白根店・甲西店
(Aコープはお店での購入品)

時間のご寄付



多くのボランティアのみなさんが活動を支えています

困難な状況に置かれている人がいることを知り、少しでも力になりたいと参加してくださっています

食品の仕分け

寄付された食品の賞味期限の確認
(毎週水曜日10:00~12:00)

食品の箱詰め

宅配便で支援世帯に届ける食品の箱詰め
(毎月第2・4週の木金曜日10:00~12:00)

申し込みはお電話で受け付けています
お気軽にご連絡ください

お金のご寄付



食品の宅配料や運営費など、活動に必要な資金のご寄付をお願いします

私たちの活動は、無償でいただいた食品を無償でお渡ししており、利益は生じません。

皆様からのご寄付に支えられています

当法人は、認定NPO法人です。
確定申告をすることで、寄付金控除が受けられます

クレジットカードで

QRコードからお手続きいただけます



【山梨中央銀行】

口座名義：
特定非営利活動法人フードバンク山梨
支店名：県庁支店（店番：258）
口座番号：（普通）671338

金融機関で

【ゆうちょ銀行】

払込み

口座名義：特定非営利活動法人フードバンク山梨
記号：10820
口座番号：9923441

振替

口座名義：フードバンク山梨
口座番号：00220-0-100567



認定NPO法人 フードバンク山梨

〒400-0203
山梨県南アルプス市徳永1603-1

Tel: 055-298-4844

Fax: 055-298-4885

E-mail: info@fbyama.com

<https://fbyamana.fbmatch.net>



@foodbank.yamanashi



@fb_yamanashi



@fb_yamanashi